

PRI 報告フレームワーク

ヘッジ・ファンド

2023

最終改訂日：2023年4月14日

本資料は日本語参考訳です。英語の PRI REPORTING FRAMEWORK も併せてご確認ください。

日本語版と英語版で相違が生じている場合には、英語版の内容が優先します。

目次

投資ガイドライン[HF 1]	3
HF 1	3
重要課題(マテリアリティ)分析[HF 2]	5
HF 2	5
ESGトレンドのモニタリング[HF 3]	8
HF 3	8
調査への ESG の組み入れ[HF 4、HF 5]	11
HF 4	11
HF 5	14
ポートフォリオ構築への ESG の組み入れ[HF 6]	15
HF 6	15
HF 7	18
ESG リスクの管理[HF 8、HF 9]	20
HF 8	20
HF 9	22

ポリシー

投資ガイドライン[HF 1]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
HF 1	ゲートウェイ	該当なし	投資ガイドライン	1、4、6	コア

ヘッジ・ファンド資産の過半数に関して、貴組織の**責任投資ポリシー**が対象範囲とする活動、取り組み、および／または関係は何ですか。

- (A) プライム・ブローカーの ESG 要件
- (B) 管理者およびカस्टディアンに対する ESG 要件
- (C) 該当する場合、(代理)議決権行使サービス・プロバイダー(またはその他の第三者プロバイダー)に関する ESG 要件
- (D) 責任投資ポリシーにおける違反を顧客に伝達する方法
- (E) ESG をロング／ショート・エクスポージャーに組み入れる方法
- (F) ESG 要因により、特定のセクター、発行体、株式、および／または資産タイプが除外されているかどうか
- (G) 対象の投資先、発行体、実物資産に対するエンゲージメントの方法
- (H) 責任投資ポリシーは、ヘッジ・ファンド資産に関する活動、取り組みおよび／または関係を対象としていない

説明

指標の目的	<p>本指標の目的は、署名機関の責任投資ポリシーに、ヘッジ・ファンド資産に対するヘッジ・ファンド固有のガイダンスが含まれているかを把握することです。多くの投資家は、すべての資産クラスをカバーする ESG または責任投資ポリシーを組織レベルで定めています。すべての資産クラスを対象とするようなポリシーは、多くの場合、ヘッジ・ファンド資産への適用に関する解釈に余地があります。これを組織のヘッジ・ファンド資産に関する具体的な ESG ガイドラインに適用することは優れた取り組みであると考えられ、ヘッジ・ファンドへの責任投資に関連する期待と取り組みの一致に寄与します。</p> <p>これらの回答オプションは署名機関に対して、ヘッジ・ファンドまたは投資運用会社の責任投資ポリシーが B2B の関係または契約および資産選定プロセスにどう影響を与えるかを概説する機会を提供します。</p>
-------	---

追加報告ガイダンス	ヘッジ・ファンド資産に特有の関係および／または活動に関するガイドラインは、独立した文書(ヘッジ・ファンド方針など)への記載、または責任投資ポリシー全体に盛り込むことができます。ヘッジ・ファンド資産に固有の関係および／または関連するガイドラインは、単独の文書(ヘッジ・ファンド・ポリシーなど)に示されている場合もあれば、責任投資ポリシー全体に記載されている場合もあります。	
他のリソース	責任投資ポリシーの作成方法に関するガイダンスについては、 責任投資の入門ガイド: ポリシー、ストラクチャーおよびプロセス (An introduction to responsible investment: policy, structure and process) を参照してください。 その他のガイダンスについては、PRIの テクニカル・ガイド: ヘッジ・ファンドへの ESG の組み入れ (Technical guide: ESG incorporation in hedge funds) を参照してください。このガイドは、ファンド・マネージャーに対して、重要な ESG 要因をヘッジ・ファンド戦略に組み入れるフレームワークを提案しています。	
ロジック		
依存関係	[OO 21]	
ゲートウェイ	該当なし	
評価		
評価基準	<p>本指標全体で 100 ポイント。</p> <p>A~G から 4 つ以上選択した場合は 100 ポイント。</p> <p>A~G から 3 つ選択した場合は 66 ポイント。</p> <p>A~G から 2 つ選択した場合は 33 ポイント。</p> <p>A~G から 1 つ、または H を選択した場合は 0 ポイント。</p>	<p>その他の詳細:</p> <p>「H」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。</p>
乗数	Moderate(中)	

全体的なアプローチ

重要課題(マテリアリティ)分析[HF 2]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
HF 2	ゲートウェイ	該当なし	重要課題(マテリアリティ)分析	1	コア

貴組織はヘッジ・ファンド戦略について、重要な ESG 要因を特定して組み入れる正式な投資プロセスを定めていますか。

	組織内運用ヘッジ・ファンド戦略								
	すべての戦略	(1)マルチ戦略	(2)ロング/ショート株式	(3)ロング/ショート・クレジット	(4)ディストレスト、スペシャル・シチュエーションおよびイベント・ドリブン・ファンダメンタル	(5)ストラクチャード・クレジット	(6)グローバル・マクロ	(7)コモディティ・トレーディング・アドバイザー	(8)その他の戦略
(A)はい、投資プロセスに重要なガバナンス要因を組み入れている	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのAUMが対象 (2)過半数のAUMが対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのAUMが対象 (2)過半数のAUMが対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのAUMが対象 (2)過半数のAUMが対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのAUMが対象 (2)過半数のAUMが対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのAUMが対象 (2)過半数のAUMが対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのAUMが対象 (2)過半数のAUMが対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのAUMが対象 (2)過半数のAUMが対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのAUMが対象 (2)過半数のAUMが対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのAUMが対象 (2)過半数のAUMが対象

	(3)一部の AUMが対象	(3)一部の AUMが対象	(3)一部の AUMが対象	(3)一部の AUMが対象	(3)一部の AUMが対象	(3)一部の AUMが対象	(3)一部の AUMが対象	(3)一部の AUMが対象	(3)一部の AUMが対象
(B)はい、投資プロセスに重要な環境および社会要因を組み入れている	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(C)はい、投資プロセスに重要なESG要因をリスク評価および裏付けとなるエクスポージャーのリスク特性に組み入れている	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(D)いいえ、正式なプロセスを定めておらず、運用担当者が自己の裁量で重要なESG要因を特定している	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(E)いいえ、重要なESG要因を特定して組み入れる正式または非公式なプロセスを定めていない	○	○	○	○	○	○	○	○	○

説明

指標の目的	本指標の目的は、重要なESG要因に対する署名機関の調査の範囲と奥行きを評価し、それが投資プロセスの一部として形式化されているかどうかを評価することです。ヘッジ・ファンドの分析を重要なガバナンス要因以外にも広げ、組織の正式な投資プロセスまたは投資体系に組み入れることは、優れた取り組みであると考えられます。これにより、ESGのデータやトレンドを分析しなければ表面化しない可能性のあるダウンサイド・リスクの特定および管理が可能になります。この分析を投資プロセスに正式に組み入れることで、組織内での首尾一貫性の確保が促進されます。
追加報告ガイダンス	重要なESG要因を特定する正式なプロセスを定めるには、次に掲げる3つの手順の一部または全部を体系的または構造的に組み入れる必要があります： (ii) 証券、銘柄または資産の評価：例えば、期待投資収益率や評価倍率、予想利益、キャッシュフロー、財務基盤に調整を加えることで、財務分析・評価に重要なESG要因を組み入れる。 (iii) ポートフォリオ管理：ESG分析をポートフォリオ構築の意思決定に含める（セクター配など）。

	<p>本指標では、「正式な」投資プロセスとは、所定のプロセスを実行するための監督と責任を含む、同意済みの体系およびプロセスのことを指します。</p> <p>特定の会社またはポートフォリオ全体の構成に関する投資判断をするときに、重要な ESG 要因を従来からの財務要因と併せて特定し、評価することで、リスクの低減や投資収益の向上を図ります。投資家はさまざまな技法を用いて、特定の ESG データや広範な ESG トレンドを分析しなければ表面化しない可能性のあるリスクおよび機会を特定しています。ESG 要因の意義と重要性は企業やセクター、市場によって異なります。本指標は、意義や重要性に関する署名機関の最終判断には関係なく、署名機関の調査プロセスの範囲に関係します。</p>		
他のリソース	<p>その他のガイダンスについては、PRI の テクニカル・ガイド: ヘッジ・ファンドへの ESG の組み入れ (Technical guide: ESG incorporation in hedge funds) を参照してください。このガイドは、ファンド・マネージャーに対して、重要な ESG 要因をヘッジ・ファンド戦略に組み入れるためのフレームワークを提案しています。</p>		
ロジック			
依存関係	[OO 21]		
ゲートウェイ	該当なし		
評価			
評価基準	<p>本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント) と対象範囲 (50 ポイント) の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 3 つの組み合わせに基づいて決定されます。</p>		
	<p>英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点:</p> <p>A~C から 3 つすべて選択した場合は 50 ポイント。 A と B の両方の場合は 40 ポイント。 A と C の両方、または B と C の両方の場合は 30 ポイント。 A~B から 1 つ選択した場合は 20 ポイント。 C の場合は 10 ポイント。 D、E の場合は 0 ポイント。</p>	<p>および</p>	<p>対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点:</p> <p>A から C の回答選択につき、各オプションのポイント比率は以下のとおりです: すべて (1) の場合は 50/3 ポイント。 過半数 (2) の場合は 25/3 ポイント。 一部 (3) の場合は 12/3 ポイント。</p> <p>その他の詳細: 「D」または「E」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。 各戦略には個別の得点が与えられるため、適用される戦略タイプの数、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。</p>
乗数	Moderate(中)		

ESGトレンドのモニタリング[HF 3]

指標 ID HF 3	依存関係	OO 21	サブセクション ESGトレンドのモニタリング	PRI 原則 1	指標種別 コア
	ゲートウェイ	該当なし			

貴組織はヘッジ・ファンド戦略全体について、変化する ESGトレンドの影響をモニタリングして検証するための正式なプロセスを定めていますか。

組織内運用ヘッジ・ファンド戦略									
	すべての戦略	(1)マルチ戦略	(2)ロング/ショート株式	(3)ロング/ショート・クレジット	(4)ディストレスト、スペシャル・シチュエーションおよびイベント・ドリブン・ファンダメンタル	(5)ストラクチャード・クレジット	(6)グローバル・マクロ	(7)コモディティ・トレーディング・アドバイザー	(8)その他の戦略
(A)はい、シナリオ分析を含む正式なプロセスを定めている 具体的に記入: _____ [自由記述 (任意):ミディアム]	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのAUMが対象 (2)過半数のAUMが対象 (3)一部のAUMが対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのAUMが対象 (2)過半数のAUMが対象 (3)一部のAUMが対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのAUMが対象 (2)過半数のAUMが対象 (3)一部のAUMが対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのAUMが対象 (2)過半数のAUMが対象 (3)一部のAUMが対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのAUMが対象 (2)過半数のAUMが対象 (3)一部のAUMが対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのAUMが対象 (2)過半数のAUMが対象 (3)一部のAUMが対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのAUMが対象 (2)過半数のAUMが対象 (3)一部のAUMが対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのAUMが対象 (2)過半数のAUMが対象 (3)一部のAUMが対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのAUMが対象 (2)過半数のAUMが対象 (3)一部のAUMが対象

(B)はい、正式なプロセスを定めているが、シナリオ分析は含まれていない 具体的に記入: _____ [自由記述 (任意):ミディアム]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(C)ヘッジ・ファンド戦略に関する正式なプロセスを定めていない。投資担当者が自己の裁量で ESG トレンドの影響が時間の経過に伴いどのように変化するかを監視、検証している	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(D)ヘッジ・ファンド戦略において変化する ESG トレンドの影響を観察、検証していない	○	○	○	○	○	○	○	○	○

説明	
指標の目的	本指標の目的は、署名機関が、変化する ESG トレンドのレビューとモニタリングを投資プロセスの一部として形式化しているかどうかを評価することです。重要な ESG 要因が特定された後(それらが存在するか潜在的であるかの特定を含む)、変化する ESG トレンドの影響をモニタリングしてレビューするために、あらゆるヘッジ・ファンド戦略にわたってすべての AUM を適用する正式なプロセスを定めることは、優れた取り組みであると考えられます。さらに、このプロセスには既存の保有資産に対するこれらの傾向の影響を評価するシナリオ分析が含まれている必要があります。
追加報告ガイダンス	本指標では、「正式な」プロセスとは、所定のプロセスを実行するための監督と責任を含む、同意済みの体系およびプロセスのことを指します。 本指標においては、「変化する ESG トレンド」には規制、物理的気候、技術、および消費者需要における変化が含まれます。 本指標においては、「シナリオ分析」は気候要因に限定されず、投資の決定に関連するその他の ESG 要因の分析も含まれます。
他のリソース	その他のガイダンスについては、PRI の テクニカル・ガイド:ヘッジ・ファンドへの ESG の組み入れ(Technical guide:ESG incorporation in hedge funds) を参照してください。このガイドは、ファンド・マネージャーに対して、重要な ESG 要因をヘッジ・ファンド戦略に組み入れるためのフレームワークを提案しています。

ロジック				
依存関係	[OO 21]			
ゲートウェイ	該当なし			
評価				
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント) と対象範囲 (50 ポイント) の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と対象範囲の回答オプションの最も得点の高いペアにのみ基づいて決定されます。			
	英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点: A の場合は 50 ポイント。 B の場合は 33 ポイント。 C、D の場合は 0 ポイント。	および	対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点: すべて(1)の場合は 50 ポイント。 過半数(2)の場合は 25 ポイント。 一部(3)の場合は 12 ポイント。	その他の詳細: 「C」または「D」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。 各戦略には個別の得点が与えられるため、適用される戦略タイプの数、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。
乗数	High(高)			

投資前

調査への ESG の組み入れ[HF 4、HF 5]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
HF 4	ゲートウェイ	該当なし	調査への ESG の組み入れ	1	コア

投資リサーチにおいて、重要な ESG リスクおよび ESG 機会を上場企業や社債発行体の選定にどのように組み入れていますか。

組織内運用ヘッジ・ファンド戦略									
	すべての戦略	(1)マルチ戦略	(2)ロング/ショート株式	(3)ロング/ショート・クレジット	(4)ディストレスト、スペシャル・シチュエーションおよびイベント・ドリブン・ファンダメンタル	(5)ストラクチャード・クレジット	(6)グローバル・マクロ	(7)コモディティ・トレーディング・アドバイザー	(8)その他の戦略
(A) 上場企業または社債発行体が提供する商品およびサービスに影響を与える可能性のある、ガバナンス関連のリスクおよび機会を組み入れている	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのケース (2)過半数のケース	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのケース (2)過半数のケース	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのケース (2)過半数のケース	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのケース (2)過半数のケース	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのケース (2)過半数のケース	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのケース (2)過半数のケース	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのケース (2)過半数のケース	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのケース (2)過半数のケース	[ドロップダウン・リスト] (1)すべてのケース (2)過半数のケース

	(3)一部の ケース	(3)一部の ケース	(3)一部の ケース	(3)一部の ケース	(3)一部の ケース	(3)一部の ケース	(3)一部の ケース	(3)一部の ケース	(3)一部の ケース
(B)上場企業や社債発行体が提供する商品およびサービスに影響を与える可能性のある、環境リスクや社会リスクおよび機会を組み入れている	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(C)上場企業や社債発行者が事業を行う際に発生する可能性のある、重要な環境・社会的リスクと機会を組み入れている	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(D)上場企業または発行体のサプライ・チェーンにつながりのある、環境リスクや社会リスクおよび機会を組み入れている	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(E)その他 具体的に記入: _____ [自由記述 (必須): スモール]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(F)投資調査において、上場企業や社債発行者の選定に、重要な ESG のリスクと ESG 機会を組み入れている	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(G)該当なし: 当戦略は上場企業または社債発行体に直接投資しない	○	○	○	○	○	○	○	○	○

説明			
指標の目的	本指標の目的は、企業(発行体または証券)の活動または運営、1つの資産タイプまたは他の金融商品に対する投資リサーチに、ESG のリスクと機会をどのように組み入れるかを評価することです。ガバナンス関連のリスクと機会の統合は、幅広い取り組みと考えられています。より先進的な取り組みは、サプライ・チェーンにおける幅広い課題に対処します。		
追加報告ガイダンス	本指標の回答オプション A~D では、上場株式または社債発行体への直接投資について言及しています。投資戦略においてこれらの資産クラスに直接投資しない場合、本指標は適用されないため、回答オプション「G」を選択してください。		
他のリソース	その他のガイダンスについては、PRI の テクニカル・ガイド:ヘッジ・ファンドへの ESG の組み入れ (Technical guide:ESG incorporation in hedge funds) を参照してください。このガイドは、ファンド・マネージャーに対して、重要な ESG 要因をヘッジ・ファンド戦略に組み入れるためのフレームワークを提案しています。		
ロジック			
依存関係	[OO 21]		
ゲートウェイ	該当なし		
評価			
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント) と対象範囲 (50 ポイント) の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 4 つの組み合わせに基づいて決定されます。		
	英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点: A~D から 4 つ選択した場合は 50 ポイント。 A~D から 3 つ選択した場合は 37 ポイント。 A~D から 2 つ選択した場合は 25 ポイント。 A~D から 1 つ選択した場合は 12 ポイント。 E、F の場合は 0 ポイント。	および	対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点: A から D の回答選択につき、各オプションのポイント比率は以下のとおりです: すべて(1)の場合は 50/4 ポイント。 過半数(2)の場合は 25/4 ポイント。 一部(3)の場合は 12/4 ポイント。
			その他の詳細: 「F」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。 「G」を選択すると、本指標のスコアは「該当なし」となります。署名機関は、本指標のために減点されることはありません。 各戦略には個別の得点が与えられるため、適用される戦略タイプの数は、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。
「その他」の採点	「その他(E)」を選んだ場合、回答オプションが優れた取り組みに該当すると判断されれば、採点基準の対象とはなりません。		
乗数	Moderate(中)		

指標 ID HF 5	依存関係	OO 21	サブセクション 調査への ESG の組み入れ	PRI 原則 1	指標種別 プラス 自主開示
	ゲートウェイ	該当なし			

コモディティまたはコモディティに関連する資産クラスを直接投資する場合、または他の金融商品を通じて投資する場合、調査、投資戦略、エンゲージメント、ポートフォリオ構築にどのように重要な ESG 要因を組み入れているかを示す例を挙げてください。

[自由記述: ラージ]

説明	
指標の目的	本指標は、署名機関が有益で革新的、あるいは先導的な取り組みや経験を共有し、PRI による事例の立証を可能にします。
追加報告ガイダンス	ヘッジ・ファンドには、ハードおよびソフト・コモディティなどさまざまな投資戦略および資産タイプが存在します。PRI は、PRI 原則 1 (ESG 課題を投資分析と意思決定プロセスに組み入れる) または原則 2 (アクティブ・オーナーになり、ESG 課題をオーナーシップ・ポリシーと取り組みに組み入れる) に関する、ハードおよびソフト・コモディティ (またはこれら資産クラスに関連するデリバティブ) に関連する取り組みの把握に関心があります。
他のリソース	その他のガイダンスについては、PRI の テクニカル・ガイド:ヘッジ・ファンドへの ESG の組み入れ(Technical guide:ESG incorporation in hedge funds) を参照してください。このガイドは、ファンド・マネージャーに対して、重要な ESG 要因をヘッジ・ファンド戦略に組み入れるためのフレームワークを提案しています。
ロジック	
依存関係	[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価対象外	

ポートフォリオ構築への ESG の組み入れ[HF 6]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
HF 6	ゲートウェイ	該当なし	ポートフォリオ構築への ESG の組み入れ	1	コア

重要な ESG 要因は、株式選定、ポートフォリオ構築、ベンチマーク選定のプロセスにどのように影響しますか。

組織内運用ヘッジ・ファンド戦略									
	すべての戦略	(1)マルチ戦略	(2)ロング/ショート株式	(3)ロング/ショート・クレジット	(4)ディストレスト、スペシャル・シチュエーションおよびイベント・ドリブン・ファンダメンタル	(5)ストラクチャード・クレジット	(6)グローバル・マクロ	(7)コモディティ・トレーディング・アドバイザー	(8)その他の戦略
(A)重要な ESG 要因は、ポートフォリオ構築やベンチマーク選定のプロセス内で個々の資産や金融商品の選定に影響する	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象
(B)重要な ESG 要因は、ポートフォリオ構築やベンチマーク選定の	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]

プロセス内で個々の資産や金融商品のポートフォリオ構成比に影響する									
(C)重要な ESG 要因は、ポートフォリオ構築やベンチマーク選定のプロセス内で個々の資産や金融商品のセクター、国、地域の構成比に影響する	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(D)重要な ESG 要因は、ショート・ポジションの構築の決定に影響する	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(E)他の形で、重要な ESG 要因はポートフォリオ構築やベンチマーク選定のプロセスに影響する 具体的に記入: _____ [自由記述 (必須):ミディアム]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(F)重要な ESG 要因は、株式選択、ポートフォリオ構築、またはベンチマーク選定のプロセスに組み入れていない	○	○	○	○	○	○	○	○	○

説明	
指標の目的	本指標により、署名機関は、評価プロセスや選定基準だけではなく、ポートフォリオの構築プロセスに重要な ESG 要因がどの程度組み入れているかを明らかにすることができます。特定のポートフォリオまたはファンドグループではなく、さまざまな投資戦略とすべての AUM にわたり、ポートフォリオ構築プロセスと資産選定のすべての側面に重要な ESG 要因を組み入れることは、優れた取り組みであると考えられます。回答オプションはポートフォリオ構築のさまざまな側面を示しており、署名機関はそこから ESG の検討事項を基に自己の方針およびリスク選好度を導き出します。
追加報告ガイダンス	本指標では、ポートフォリオの構築プロセスについて、個別資産、資産クラス、セクター加重、ベンチマークまたは指数の選定、ショートポジションの構築、保有期間などを回答オプションとしています。

他のリソース	その他のガイダンスについては、PRIの テクニカル・ガイド: ヘッジ・ファンドへの ESG の組み入れ (Technical guide: ESG incorporation in hedge funds) を参照してください。このガイドは、ファンド・マネージャーに対して、重要な ESG 要因をヘッジ・ファンド戦略に組み入れるためのフレームワークを提案しています。		
ロジック			
依存関係	[OO 21]		
ゲートウェイ	該当なし		
評価			
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント) と対象範囲 (50 ポイント) の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 3 つの組み合わせに基づいて決定されます。		
	英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点: A~D から 3 つ以上選択した場合は 50 ポイント。 A~D から 2 つ選択した場合は 33 ポイント。 A~D から 1 つ選択した場合は 16 ポイント。 E、F の場合は 0 ポイント。	および	対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点: A から D の回答選択につき、各オプションのポイント比率は以下のとおりです: すべて(1)の場合は 50/3 ポイント。 過半数(2)の場合は 25/3 ポイント。 一部(3)の場合は 12/3 ポイント。
「その他」の採点	「その他(E)」を選んだ場合、回答オプションが優れた取り組みに該当すると判断されれば、採点基準の対象とはなりません。		
乗数	Moderate(中)		
	その他の詳細: 「F」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。 各戦略には個別の得点が与えられるため、適用される戦略タイプの数は、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。		

指標 ID HF 7	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別 プラス 自主開示
	ゲートウェイ	該当なし	ポートフォリオ構築への ESG の組み入れ	1	

報告年度中に、重要な ESG 要因に関する情報またはデータが、各主要ヘッジ・ファンド戦略の加重およびポートフォリオ構築にどのような影響を与えたかを説明してください。

組織内運用ヘッジ・ファンド戦略	事例
(A) マルチ戦略	[自由記述: ラージ]
(B) ロング/ショート・エクイティ	[自由記述: ラージ]
(C) ロング/ショート・クレジット	[自由記述: ラージ]
(D) ディストレスト、スペシャル・シチュエーションズ、イベント・ドリブン・ファンダメンタル	[自由記述: ラージ]
(E) ストラクチャード・クレジット	[自由記述: ラージ]
(F) グローバル・マクロ	[自由記述: ラージ]
(G) コモディティ・トレーディング・アドバイザー	[自由記述: ラージ]
(H) その他の戦略	[自由記述: ラージ]

説明	
指標の目的	本指標は、署名機関に対して、主要なヘッジ・ファンド戦略の配分において加重およびティルトに重要な ESG 要因を組み入れる際に、興味深い、画期的、または先進的だと考える事例を詳しく説明する機会を提供します。そのため、署名機関は、さまざまな取り組みや経験を共有することができます。
他のリソース	その他のガイダンスについては、PRI の テクニカル・ガイド:ヘッジ・ファンドへの ESG の組み入れ(Technical guide:ESG incorporation in hedge funds) を参照してください。このガイドは、ファンド・マネージャーに対して、重要な ESG 要因をヘッジ・ファンド戦略に組み入れるためのフレームワークを提案しています。
ロジック	
依存関係	[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価対象外	

投資後

ESG リスクの管理[HF 8、HF 9]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
HF 8	ゲートウェイ	該当なし	ESG リスクの管理	1	コア

ネガティブ／除外・スクリーニングの対象であるヘッジ・ファンド資産がスクリーニング基準を満たすよう徹底するために、どのようなコンプライアンス手続きを定めていますか。

- (A) ネガティブ／除外・スクリーニングの対象であるすべてのファンドまたはポートフォリオが確実に取引前チェックを受けるようにするための内部コンプライアンス手続きを定めている
- (B) ネガティブ／除外・スクリーニングの対象であるすべてのファンドまたはポートフォリオに対するスクリーニング実施プロセスを監視する外部委員会を設置している
- (C) ネガティブ／除外・スクリーニングの対象であるすべてのファンドまたはポートフォリオに対するスクリーニング実施プロセスを監視する独立内部委員会を設置している
- (D) 表明しているネガティブ／除外・スクリーニングの実施を徹底するコンプライアンス手続きを定めていない
- (E) 該当なし: ヘッジ・ファンド資産に対してネガティブ／除外・スクリーニングを実施していない

説明

指標の目的	本指標の目的は、署名機関が規定のネガティブ／除外・スクリーニングが該当する全ポートフォリオを通して遵守されていることを徹底するために講じている監視および信頼醸成措置を理解することです。レビューを行い実施状況や結果、基準の変更を監視する独立委員会を通じて監視を整備することは、優れた取り組みであると考えられます。これらの措置は、内部コンプライアンス手続きと並行して実施し、補完する必要があります。
追加報告ガイダンス	本指標での「内部コンプライアンス手続き」には、ネガティブ／除外・スクリーニングの対象であるファンドまたはポートフォリオが、スクリーニング基準が正しく導入されていることを確認する内部統制、および／またはスクリーニング基準が正しく実施されていることを確認する独立監査プロセスが含まれています(ただし、これに限定されるわけではありません)。本指標では、「外部委員会」は、特定のファンドに対して、または特定の組織レベルで、スクリーニング基準の導入、レビュー、作成時に署名機関組織に独立した助言とガイダンスを提供する機関を指す場合があります。

	本指標では、独立した内部委員会は、リスク・チームやコンプライアンス・チームなど、投資の意思決定責任を持たないシニア・スタッフで構成される場合があります。	
他のリソース	スクリーニングに関するその他のガイダンスについては、 責任投資の入門ガイド:スクリーニング (An introduction to responsible investment: screening) を参照してください。	
他の基準の参照	OECD 機関投資家の責任ある企業行動(OECD Responsible Business Conduct for Institutional Investors)	
ロジック		
依存関係	[OO 21]	
ゲートウェイ	該当なし	
評価		
評価基準	<p>本指標全体で 100 ポイント。</p> <p>A～C から 3 つ、または A と B を両方とも選択した場合は 100 ポイント。</p> <p>A と C の両方、または B と C の両方の場合は 66 ポイント。</p> <p>A～C から 1 つ選択した場合は 33 ポイント。</p> <p>D の場合は 0 ポイント。</p>	<p>その他の詳細:</p> <p>「D」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。</p> <p>「E」を選択すると、本指標のスコアは「該当なし」となります。署名機関は、本指標のために減点されることはありません。</p>
乗数	Moderate(中)	

指標 ID HF 9	依存関係	OO 21	サブセクション ESG リスクの管理	PRI 原則 1	指標種別 コア
	ゲートウェイ	該当なし			

過半数のヘッジ・ファンドについて、重要な ESG リスクと ESG インシデントを特定し、リスクの管理プロセスに組み入れるための正式なプロセスを定めていますか。

	組織内運用ヘッジ・ファンド戦略								
	すべての戦略	(1) マルチ戦略	(2) ロング/ショート株式	(3) ロング/ショート・クレジット	(4) ディストレスト、スペシャル・シチュエーションおよびイベント・ドリブン・ファンダメンタル	(5) ストラクチャード・クレジット	(6) グローバル・マクロ	(7) コモディティ・トレーディング・アドバイザー	(8) その他の戦略
(A) はい、重要な ESG リスクと ESG インシデント、および個々の証券、発行者、金融商品に対するそれらの影響に関する定量的／定性的情報のレビューが正式なプロセスに含まれている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(B) はい、重要な ESG リスクと ESG インシデント、および類似するリスクやインシデントの影響を受けるその他の証券、発行者、金融商品に対するそれらの影響に関する定量的／	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

定性的情報のレビューが正式なプロセスに含まれている									
(C)はい、重要な ESG リスクと ESG インシデント、およびスチュワードシップ活動に対するそれらの影響に関する定量的／定性的情報のレビューが正式なプロセスに含まれている	□	□	□	□	□	□	□	□	□
(D)はい、重大な ESG インシデントに関する定量的／定性的情報の臨時的レビューが正式なプロセスに含まれている	□	□	□	□	□	□	□	□	□
(E)重要な ESG リスクと ESG インシデントを特定し、リスク管理プロセスに組み入れるための正式なプロセスを定めておらず、運用担当者が自己の裁量で重要な ESG リスクと ESG インシデントを特定し、組み入れている	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(F)重要な ESG リスクと ESG インシデントを特定し、リスク管理プロセスに組み入れるための正式なプロセスを定めていない	○	○	○	○	○	○	○	○	○

説明	
指標の目的	本指標の目的は、署名機関のリスク管理プロセスが、重要な ESG リスクと ESG インシデントを投資判断および投資調査に正式に組み入れているかを評価することです。理想的には個々の資産レベルで ESG リスクと ESG インシデントを定期的に特定して組み入れるための正式なプロセスを定め、適切なレベルの監視と精査を行い、投資判断に適切に反映させることは、優れた取り組み

	みであると考えられます。このプロセスは評価または事業モデルにとって重要な影響を持つリスクとインシデントを特定できる必要があります。また、評判リスクの点で投資マネージャーにとっても影響があります。	
追加報告ガイダンス	本指標では、「正式な」プロセスとは、所定のプロセスを実行するための監督と責任を含む、同意済みの体系およびプロセスのことを指します。	
他のリソース	その他のガイダンスについては、PRI の テクニカル・ガイド: ヘッジ・ファンドへの ESG の組み入れ (Technical guide: ESG incorporation in hedge funds) を参照してください。このガイドは、ファンド・マネージャーに対して、重要な ESG 要因をヘッジ・ファンド戦略に組み入れるためのフレームワークを提案しています。	
ロジック		
依存関係	[OO 21]	
ゲートウェイ	該当なし	
評価		
評価基準	<p>本指標全体で 100 ポイント。</p> <p>A~D から 4 つ選択した場合は 100 ポイント。</p> <p>A~D から 3 つ選択した場合は 75 ポイント。</p> <p>A~D から 2 つ選択した場合は 50 ポイント。</p> <p>A~D から 1 つ選択した場合は 25 ポイント。</p> <p>E、F の場合は 0 ポイント。</p>	<p>その他の詳細:</p> <p>「F」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。</p> <p>各戦略には個別の得点が与えられるため、適用される戦略タイプの数は、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。</p>
乗数	Moderate(中)	